

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

平成29年丁酉 住職年頭挨拶



丁酉

「母よ うどんをそなえて わたしも いただきます」 種田山頭火
～御命頂戴奉る父母を大切に～

六月に母を見送りて、早半年が経ちました。誰にとっても同じでしょうが、無上最良の母でした。亡くなって暫くは悲しくて仕方ありませんでした。百箇日法要を過ぎても、寂しくてなりません。私と母とは、生まれてからずっと一緒に長く過ごしました。生前は、家なら家の中に居ると場所が決まっていますが、亡くなった後は自分の居る場所全てに、常に傍に居てくれます。母は子の身に添うて居るものであると感じています。

さあ、先ず母にうどんをそなえて、合掌し、母と共にいただきます。温かさを噛みしめながら、感謝とお詫びを込めて、いただきます。



平成29年元旦 仁叟寺三十一世住職 渡辺啓司 合掌

平成29年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4～1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/12 大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/17～3/23 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13～7/16 新暦盂蘭盆会
京浜地区檀信徒棚経
- 7月下旬(一泊二日)
第36回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13～8/16 盂蘭盆会
- 9/20～9/26 秋季彼岸会
- 11/1～11/5 梅花授戒会
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・華道教室
- ※群馬県宗務所執務日
月・水・金曜日

平成二十九年 年回表

一周忌	平成二十八年	二十三回忌	平成七年
三回忌	平成二十七年	二十七回忌	平成三年
七回忌	平成二十三年	三十三回忌	昭和六十年
十三回忌	平成十七年	五十回忌	昭和四十三年
十七回忌	平成十三年	百回忌	大正七年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
 ※2 該当檀信徒各家には、封書にて通知が届きます。
 (但し、五十回忌・百回忌を除く)

県宗務所特派布教師巡回 (会場、仁叟寺)



↑ 特派布教師 田中清元老師

去る10月7日、仁叟寺にて曹洞宗群馬県宗務所第14教区の特派布教師巡回が修行されました。布教師は、北海道薬王寺住職の田中清元老師。田中老師は、宗門を代表する布教師。住職と同安居

↑ 特派布教師法話風景

であり、国際禅文化交流会でも法縁があります。また、南米パラグアイに拓恩寺という禅宗寺院建立の為、尽力され、精力的に活躍されております。

当日は、多くの檀信徒はじめ梅花講員さん、教区の御寺院様をお迎えし、聞法の集いが勤められました。田中老師の法話は、伺ってありました通り、ストーンとココロの中に入って参りました。参加された皆さんも、素晴らしいひと時が過ごせたと思っております。天候にも恵まれ、秋爽やかな心持ちで過ごせましたこと、有難く感じております。

関東管区婦人会研修会～開講式、ネルケ無方老師法話、婦人会コンサート～ (会場、仁叟寺)



↑ 関東管区婦人会研修会風景

去る11月4日、曹洞宗関東管区宗務所婦人会の第41回研修会が、仁叟寺にて修行されました。関東管区は首都圏一都七県で構成され、去年は群馬県宗務所が当番県となっております。

始めに主催当番県であり群馬県宗務所長の仁叟寺住職導師のもと開講

式が本堂にて勤められた後、兵庫県安泰寺住職、ネルケ無方老師にご法話をいただきました。ネルケ無方老師は、ドイツ出身。禅に関する著作も多く、現在は兵庫県の山奥にある安泰寺にて修行僧と共に自給自足の生活を送っております。

昼食を当山で召し上がっていただき、午後は地元群馬県桐生市の合唱団及び深津素子先生らによる婦人会コンサート。大いに盛り上がりました。

天候にも恵まれ、約350名もの大勢の方々が参加。宗務所はもとより群馬県婦人会、県青年会の多くの法助の中、良き研修

→ 研修会の様子が上毛新聞記事に掲載されました

高崎 曹洞宗婦人会の関東管区研修会が4日、高崎市吉井町の仁叟寺で開かれ、ドイツ出身で兵庫県の安泰寺の住職を務めるネルケ無方さん(48)による講演会などが行われた。

ネルケさんは「遠路はるはるニッポンへ」と青い目が見たZEN」と題して講演。ユーモアを交え、禅を学びにドイツか

外国人が見た「禅」
ドイツ出身の住職語る

柔らかい語り口で会場を楽しませたネルケさん

16歳の時に初めて禅を体験し、「姿勢が変わると自分が変わる」と感じ、以来禅を続けていたと説明。子どものころから、なぜ人は生きるのかという疑問を抱き続けていたと話し、「お釈迦様と同じ問いを持っていたと知り、親近感を抱いた」と振り返った。

ら来日した経緯などを語った。

市指定重要文化財 千手観世音菩薩像修復完了



平成14年から鋭意進めて参りました仁叟寺諸仏像修復事業。昨年に最後の修復佛でありました、高崎市指定重要文化財である千手観世音菩薩像が遷座されました。予定より長い年月が掛かりましたが、我が国の伝統文化を受け継ぐ職人さん各位によって、きちんと修復が施されました。担当した仏師姫路師によりますと、現代には考えられない精巧かつ複雑な技法によって作成されており、また各作業を担当する職人（漆、金箔、彫刻、塗、彩色等）も高齢化の波著しく、修復に時間が掛かったとのことでした。

↑七体の観音像が修復完了し勢揃いになりました

特に仁叟寺観音堂にある七観音及び前立佛は、全て中世室町期に作成された仏像で、高崎市の重要文化財に指定されております。また、本尊千手観世音菩薩像は、羊太夫の守り本尊とも伝わり、当地の歴史にも深く関わっております。近年では上州観音霊場、また南毛観音霊場、坂東三郡観音霊場の各札所として、御朱印を求める巡礼の方々が多く参られます。

梅花授戒会が修行されます

本年11月1日より5日に掛けて、授戒会が修行されます。梅花部60周年及び青年会55周年を記念し、住職が所長を務めております曹洞宗群馬県宗務所が主催となり、戒場を桐生市大雄院様にて開催する運びとなりました。本県では、青年会50周年を記念し、大本山總持寺貫首江川辰三大禅師猊下を招聘し、仁叟寺で修行されて以来、5年振りの大法要となります。

青年会55周年のほか、梅花部60周年を記念する同法要ですので、梅花流詠讃歌及び同講習も法要内次第に入っております。梅花講の皆様には、奮っての参加をお願いいたします。

今回は、戒師を宗務所長である仁叟寺住職が、教授師を会場主であり梅花部長である大雄院住職橋本恵一老師が、引請師を金龍寺住職青木龍峰老師が、また、説戒師を長楽寺住職峯岸正典老師が、それぞれお勤めになられます。

一般参加者は、2日から5日までの参加となりますが、長時間に亘る法要のため、3日から4日の一泊二日、3日から5日の二泊三日での参加でも受け付けております。ほか、亡戒といい亡くなられた方に対しての法供養として、ご戒名での参加受付もごさいます。難値難遇の機会であります。正式なお申し込みは、要綱及び式次第等が完成する今春よりとなります。是非ご参加いただきたく、茲にご案内を申し上げます。



↑授戒会ポスター 題字は仁叟寺住職筆

地域防災拠点としての仁叟寺の役割



→上毛新聞社会面記事(十一月七日付)

寺社を避難所に

災害時の避難所に寺や神社などの宗教施設を活用する動きが県内外に広がっている。東日本大震災や熊本地震の際、くつろぎやすい敷地が広い駐車場を求め、大勢の被災者が避難所ではない寺などに身を寄せた。高崎、桐生両市は地元のと災害時の協力関係を結んだ。住民の不安を和らげる身近な施設として、その役割に注目している。

量の部屋、広い駐車場 防災拠点へ整備 自治体と協定も

「宗教施設には広い空間があり、避難所としての役割が期待できる。災害時の避難所として活用する動きが県内外に広がっている。東日本大震災や熊本地震の際、くつろぎやすい敷地が広い駐車場を求め、大勢の被災者が避難所ではない寺などに身を寄せた。高崎、桐生両市は地元のと災害時の協力関係を結んだ。住民の不安を和らげる身近な施設として、その役割に注目している。」



県と、新里、黒坂間地区の寺(おんじ)が、災害時の避難所として活用する動きが県内外に広がっている。東日本大震災や熊本地震の際、くつろぎやすい敷地が広い駐車場を求め、大勢の被災者が避難所ではない寺などに身を寄せた。高崎、桐生両市は地元のと災害時の協力関係を結んだ。住民の不安を和らげる身近な施設として、その役割に注目している。



「宗教施設には広い空間があり、避難所としての役割が期待できる。災害時の避難所として活用する動きが県内外に広がっている。東日本大震災や熊本地震の際、くつろぎやすい敷地が広い駐車場を求め、大勢の被災者が避難所ではない寺などに身を寄せた。高崎、桐生両市は地元のと災害時の協力関係を結んだ。住民の不安を和らげる身近な施設として、その役割に注目している。」

は寺に於いては、被災者の避難所として活用する動きが県内外に広がっている。東日本大震災や熊本地震の際、くつろぎやすい敷地が広い駐車場を求め、大勢の被災者が避難所ではない寺などに身を寄せた。高崎、桐生両市は地元のと災害時の協力関係を結んだ。住民の不安を和らげる身近な施設として、その役割に注目している。

→仁叟寺での研修会の様子



高崎市里山元気再生事業報告



← 奉仕作業役員集合写真



↑ おてんま風景（8月7日）
（もみじ山下草刈り）

仁叟寺の竹林を整備し、地元と檀

信徒の方々の協力をもって行っております高崎市の補助事業、里山元気再生事業の継続が昨年も決まり、本年で5年目となりました。伐採した竹林は既に7,000本以上。その跡地には、モミジやサクラおよそ300株を植樹いたしました。なお、作業に当たっては、特に矢島巖さん、小沢昇さん、金井正男さん、加藤壮士さんに一方ならぬご尽力をいただいております。

仁叟寺総代会役員会等に併せ、昨年の6月～9月の第一日曜日の計4回に亘り、おてんま（吉井地域の方言、共同作業や普請の意）を行いました。植樹した木々が、しっかりと根付くよう、下草刈りや篠竹刈り等の作業を総代人さん、役員さん、地元の方々と共に行い、汗を流しました。

当地には、歴史を物語る古墳も多数遺されており、また山内全景や上毛三山、吉井市街等が見渡せる風光明媚な場所。昨年に引き続き、里山再生に相応しい「もみじ山歴史公園」に向けた整備が、着々と進められております。

自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～



← ボランティア風景（南相馬市小高地区）
慰霊法要（新祥寺）

去る11月1日から2日に掛けて、福島県南相馬市に慰霊及びボランティア活動に伺って参りました。群馬県曹洞宗青年会会長の副住職ほか有志8名と福島県曹洞宗青年会の瀧澤会長ほか有志6名、合計14名で、福島県被災地域である南相馬市小高地区にて奉仕活動をさせていただきました。

今回も南相馬市の新祥寺野田精頭副住職に窓口になっていただき、作業に当たって準備を行っていただきました。有難うございました。

初日の1日は、福島市にある曹洞宗東日本大震災被災地復興支援分室に伺い、久間主事老師より現在の状況をご教授いただきました。青年会が来年55周年を迎え、記念事業が控えておりますが、その支援に際し、実りあるお話しが出来たものと思います。ほか慰霊法要を新祥寺様本堂にて青年会長である副住職導師のもと、修行いたしました。

2日目は、公会堂の清掃作業及びボランティアセンター引越し作業等を行い、皆と共に汗を流しました。



総代長新年挨拶

新年明けましておめでとうございます

東北の名刹を訪ねる研修旅行

昨年11月9日から10日の2日間に亘り、東北地方の名刹を訪ねる研修旅行に参加いたしました。バス6台212名の参加者が集い、東北自動車道平泉前沢インターを下ったところから次第に雨から雪に変わり、正法寺に到着した時は辺り一面雪景色でした。素晴らしい紅葉に見惚れながら足元に気を付けて本堂に向かいました。

正法寺本堂は茅葺の屋根で、間口30m奥行21mで文化8年（1811）に伊達家により創建されました。正法寺は南北朝時代の貞和4年（1348）に開創され、その歴史と格式に相応しい寺宝や伽藍が数多く残されております。曹洞宗第三の本寺と呼ばれ、東北地方を代表する古刹寺院です。

次に妙見山黒石寺に伺いました。本尊様は薬師如来様であり、他にも国指定の佛像を拝観。旧正月7日に行われている、厳寒積雪中の裸祭りが有名だそうです。

それから雪景色を眺めながら新鉛温泉に向かい、夕方予定通り到着しました。宴会ではみち



↑ 初雪と紅葉が一緒になる珍しい風景

行雲流水（編集後記）

明けまして、おめでとうございます。

私儀 昨年末を以て群馬県曹洞宗青年会の会長を任期満了にて退任いたしました。本年平成29年は青年会創立55周年となり、5月に「現代名僧墨蹟展」を、11月に宗務所様主催で梅花部60周年と併せ「梅花授戒会」を修行予定です。無事圓成に向けて、縷々準備を重

筆者・新井徳衛総代長



のくの伝統芸能の獅子舞を鑑賞したり、カラオケ等で楽しく過ごしました。

翌朝ホテルを出発する時はチェーンを装着して出発。道路でチェーンを外して世界遺産の毛越寺の池を中心とする浄土庭園を拝観。続いて中尊寺に向かいました。バスから降り、ガイドさんの案内で金色堂を見学。藤原三代の繁栄を想い、見頃を迎えた紅葉の中、年2回しか見ることの出来ない奉納行列を見送る事も出来、佛縁に感謝いたしました。

今回の旅は、皆さん無事で自然の最高の美しさ、日本最古の思想・技法を伝える浄土庭園を見学したり、佛縁にも恵まれ感謝の気持ちいっぱいの旅でした。有難うございました。

に叟寺総代人一同

新井徳衛	篠崎和男	矢島正義
森 久	堀越兼一	神保堯男
橋爪 勝	酒井範明	神保武長

※新井徳衛総代長には、昨年秋の宗務所研修旅行についての感想を書いていただきました。お陰様で仁叟寺より10名を超える参加がありました。本年も研修旅行が秋に行われます。是非、奮ってのご参加をお願いいたします。

編集人 副住職 渡辺龍道

ね愈々当年となりました。引き続き、精進をさせていただきます。

本年も副住職として住職を補佐し、お勤めさせていただきますので、檀信徒の皆様始め関係各位の温かいご協力を、宜しくお願い申し上げます。（龍）

